

地域づくり活動 NPO 事業助成（先導的・先駆的）事業 実績報告

団体名	特定非営利活動法人 神戸の冬を支える会	代表者名	理事長 森山 一弘
事業名	刑余者等の社会復帰と生活再建および再犯防止のための支援事業		

<事業実施実績>

年 月 日	活 動 内 容
2018年 4月～ (随時)	関係機関等（または本人）からの相談依頼を受けての相談及び支援活動の実施（住居の確保、各種福祉制度等の利用の支援）
2018年 4月～ (随時)	住居確保した居宅生活者に対する訪問、相談受付及び支援の実施
2018年 4月27日	阪神宗教者の会で「刑事施設釈放者等の現状と課題」について報告
10月18日	出所者の支援の在り方を考える専門部会出席
11月20日～ 2019年 1月17日	満期出所者の県住一時使用についての打ち合わせ (県庁、保護観察所、神戸市役所)
1月	フォローアップ対象者への年賀状送付
1月21日	姫路地区での更生保護関係者の協議会参加
3月18日	兵庫県弁護士会主催よりそい弁護士制度勉強会参加

<効果と成果>

刑事施設等から帰るべき住居がないまま釈放され、そのままホームレス化する方が多く存在する中、関係機関と協力し、それらの方の住居確保事業を実施した。本事業の実施により 2018 年度中に行った相談・支援の実績は以下の通り。

刑事施設等からの釈放者等の相談件数 130 人
 (相談依頼元) 保護観察所、刑務所、更生保護施設、弁護士、福祉事務所、病院、不動産業者
 (住居確保支援件数) 125 人 (実際に住居を確保した方の数、施設入所を含む)

服役中の方への面談 8 人 (10 回)、勾留中の方への面談 23 人 (53 回)、服役中の方との手紙のやり取り 6 人、刑事裁判での情状証人として出廷 11 回、意見書提出 7 件、自宅訪問の実績 8 人 (76 回)

今後は、保護観察所や更生保護施設、弁護士会など関係機関との協力、連携を強化するとともに、理解のある不動産業者との連携の拡大を図っていききたい。

また、国が決定した再犯防止推進計画の実効性のある実施のために、NGO/NPOとして提言を行うなどを行っていくとともに、自治体の積極的な取り組みが実現するよう働きかけていきたい。

同じ犯罪を繰り返してしまう方への有効なサポートの在り方も検討していきたい。

<収支決算書>

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	141,995
播磨社会復帰促進センターよりの 面談費及び交通費等	35,040
合計	677,035

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	交通費	7,400	7,400
	人件費	659,277	482,406
	通信費	3,948	3,948
	事務用品	1,166	1,166
	小 計	671,791	494,920
間接経費 (一般管理費)		5,244	5,080
合 計		677,035	500,000